

空へ挑み、宇宙を拓く



平成21年1月24日
宇宙航空研究開発機構

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)の 地球指向モード移行について

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)について、スペイン領カナリア諸島のマスパロマス局にて1月23日22時59分(日本時間)に受信したテレメトリデータにより、地球指向モード(EPM)移行(※)が正常に行われたことを確認しました。

現在、衛星の状態は正常です。

(補足)

(※) 地球指向モード(EPM: Earth Pointing Mode): スラスタ(ガスジェット)を用いて衛星の姿勢制御を行い、観測機器を概ね地球方向に向けるモードです。